

本邦初!

# 義歯治療をベースとしたIODの臨床本

## これからの義歯治療と インプラント オーバーデンチャー

BACK  
TO THE  
DENTURE  
THE

亀田 行雄 著 (埼玉県・開業)



超高齢社会を迎え、日本ではますます義歯の需要が高まっている。そのようななか、今まであまり変わらなかったと揶揄される義歯治療が、これからの10年で大きく変わるとされる。その一つの要因がImplant Overdenture (IOD)の普及であり、義歯治療の一つのオプションとして避けられない治療法となってきた。IODの基本である2-Implant Overdentureは、機能に合わせた義歯を製作しなければ、インプラントに外傷となり義歯も破損する。IODは、義歯治療をベースにすることに意義がある。それによりアタッチメントの選択基準や義歯製作が理解しやすくなり、更にはパーシャルデンチャーを含めたすべてがIODへの応用に広がり、義歯治療の総合力が高まるのである。

A4判・144頁・オールカラー  
定価(本体7,600円+税)

詳しい情報はこちら→



### CONTENTS

第1章 グローバルスタンダード  
2-Implant Overdenture

第2章 少ない本数のインプラントによる  
義歯治療ベースのIOD

第3章 義歯治療をベースとしたアタッチメントの選択

第4章 義歯治療の今までとこれから

第5章 2-IODの新しいコンセンサス

第6章 IODにおける義歯床の形態と咬合

第7章 無歯顎患者における上顎 IOD

第8章 遊離端欠損における  
インプラント支持パーシャルデンチャー